

資料室



HOME | 資料室 | 労働組合 | 教育・宣伝活動 | 労働運動の基本Q & A 1 労働組合の目的と活動

労働組合

労働者福祉・共済

一般教養

組織活動

組織運営と法律

労働安全衛生

経営対策活動

教育・宣伝活動

労働時間をめぐる諸問題

教育活動

選挙活動

組合組織（公務員）

教育カリキュラム

労働運動の基本Q & A 1 労働組合の目的と活動

● 労働組合とは何ですか、労働組合を定義するとどうなりますか。

労働者が「人間として人間らしく生きる」、これは普遍的なことです。その時代に合った人間らしい生活を営む権利を有します。産業革命後、労働者は劣悪な環境で労働し、低賃金の生活状態でした。人間らしい生活とは言い難い状態でした。「十分に人間らしい生活ができるようにしなければ」、これが労働組合の出発点です。労働組合とは何か。理屈っぽくなる必要はありませんが、基本的な理解として整理すると、労働組合の最も古い定義は、シドニー・ウェッブが1894年に書いた『労働組合史』序文にあります。その内容は、「労働組合とは、賃金労働者がその労働生活の諸条件を維持または改善することを目的として作る恒久的団体である」ということです。今流に言えば、「労働者が団結し」「人間らしく物心両面でより豊かに生きるために」運動する「自主的で、継続的な、大衆組織」となります。

● なぜ、労働組合が必要なのですか。

歴史が証明しているように、労働者は一人ひとりがバラバラに行動していたのでは、企業との関係においては、弱い立場であり、全てが企業の言いなりとなりがちで、企業に従属した関係とならざるを得ませんでした。そこで、この弱さをカバーし、企業と対等の立場に立って交渉し労働条件を決めていくために、バラバラの労働者が一つにまとまつたものが労働組合です。労働者一人一人が連帯し、その連帯が結集し団結する。この団結した姿・形が「労働組合」です。

● 労働組合は目的を達成するためにどのような活動をしていますか。

労働組合は「生涯総合福祉」の充実へ向けて、活動は多種多様で、人間生活「生き方」全体にわたる活動を行っていますが、大きく分類すると、以下となります。

1. 会社に要求し働きかける活動。
2. 政治（社会）に要求し働きかける活動。
3. 組合内部での相互扶助活動

● 労働組合は、自主的で継続的な大衆組織といいますが、なぜですか。

その理由は、

1. 会社や外部からの支配・介入を許さない独立組織であり、労働者が自主的に運営していく。
2. 一時的な組織ではなく、目的に向かって常に活動し、組織を強化し運動を発展させる継続的なもの。
3. 労働組合は労働者の結集体ですから大衆組織です。したがって、運営も民主的でなければなりません。独裁的な指導者は無用ですし、幹部の独走も許されません。

以上、労働者の主体性・自主性、そして民主的運営の基盤を基本にしています。

◎ キーワード検索はこちら

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録
お申し込みはこちらです。

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's広場

関連リンク

Worker's Library

JAPANESE TRADE UNION CONFEDERATION DB SITE

静岡で働く人のための資料閲覧サイト
〔ワーカーズ・ライブラリー〕

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.